

群桐グループ
2023年発行 環境活動報告書



Environmental report

2022年6月～2023年5月

環境と安全

会社概要	02
環境組織図	03
大気環境測定結果	04
環境目標とその実績	05
環境への主な取組	07
安全対策	09

発行時期

2023年7月(次回発行、2024年夏予定)

対象期間

本報告書に掲載した数値・データおよび内容は、2022年度(2022年6月1日～2023年5月31日)の実績を集計したものです。

対象範囲

(株)群桐産業および群桐エコロ(株)

公表数値

公表数値につきましては、端数処理により合計が一致しない部分がございます。

本報告書に関するお問い合わせ先

(株)群桐産業 総務部 広報室
TEL.0277-78-2479



群桐グループはISO14001の
認証を取得しています。





株式会社 群桐産業

資本金 6,000万円

営業本部 群馬県太田市大原町78番地1

藪塚工場 群馬県太田市藪塚町3201

【主な事業内容】

- 産業廃棄物収集運搬
- 廃油回収及び販売
- 汚泥、廃油及び医療系廃棄物焼却処分
- PCBソリューション

【従業員数】

85名(2023年5月現在)

【売上高】

35億5307万円(直近年度実績)

群桐グループ本社及び営業部門。

多数のドライバーを有し、お客様から廃油をはじめとする産業廃棄物を回収します。

また、焼却プラントでは医療系廃棄物や廃プラスチック類、汚泥や塗料、水溶性廃油などを焼却処理しています。

焼却処理後に発生する燃え殻は、グループ会社の群桐エコロ(株)に溶融リサイクルを委託しています。

営業、総務、プラント作業員、回収ドライバー等多種の職種が存在し、群桐エコロ(株)の営業・回収も行います。



群桐エコロ 株式会社

資本金 2,000万円

営業本部 群馬県太田市大原町78番地1

新田工場 群馬県太田市新田大町600番26

【主な事業内容】

- 廃棄物焼却溶融処理及び人工砂製造販売
- 廃油の油水分離処理及び再生重油販売
- 低濃度PCB廃棄物処理

【従業員数】

65名(2023年5月現在)

【売上高】

33億5800万円(直近年度実績)

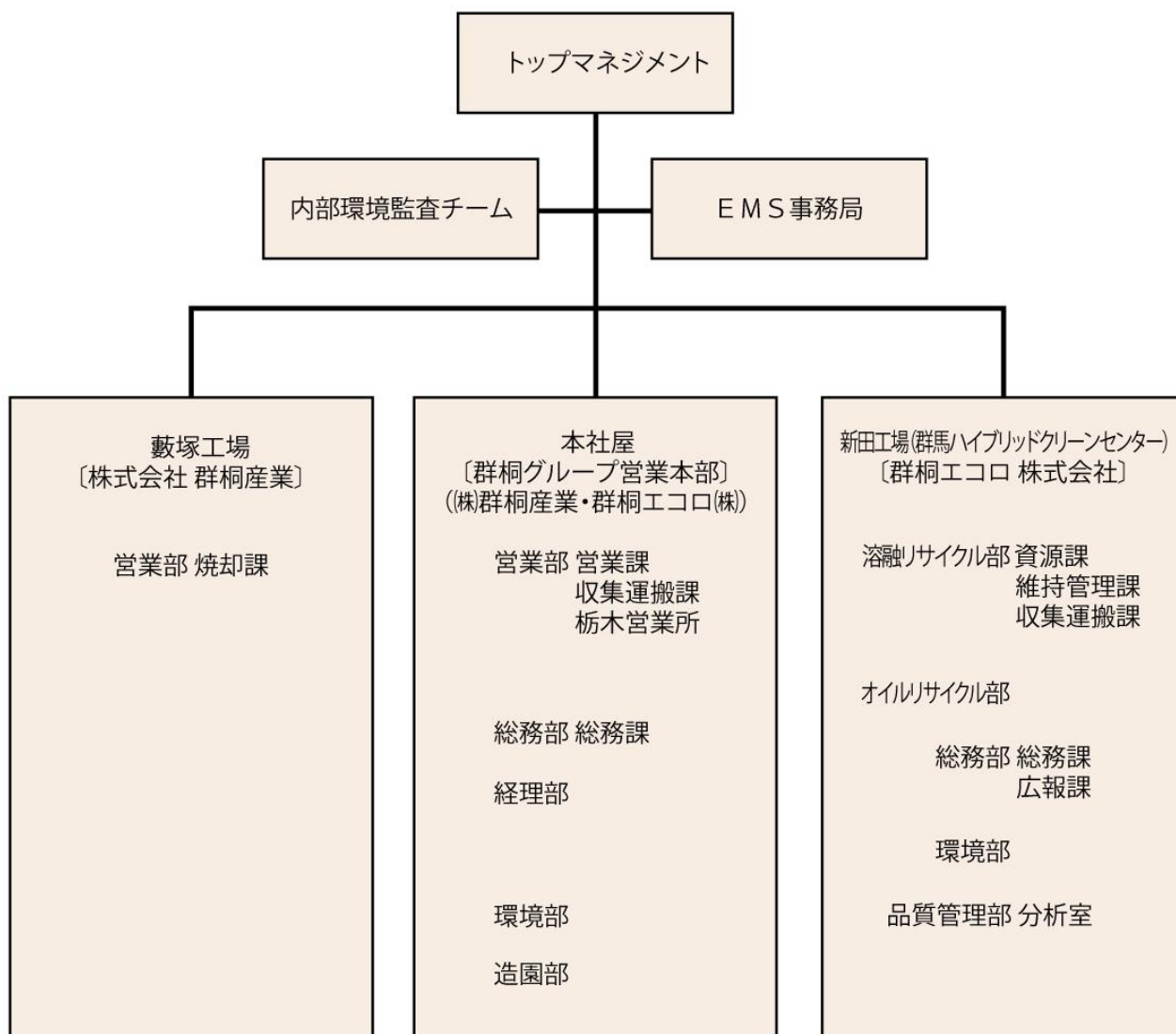
群桐グループ施設管理部門。

(株)群桐産業がお客様から回収、または収集運搬業者から持ち込まれた廃油を、自社のシステムでリサイクル処理して再生重油として販売しています。

リサイクルに回せる廃油以外の産業廃棄物は、焼却溶融処理して溶融スラグから人工砂を製造。アスファルトの下に敷く路盤材の原料やコンクリート骨材といった用途として使われています。従業員構成は数名の事務員を除くと、プラントの作業員が殆どの割合を占めています。

全国でも希少な焼却溶融施設を擁し、最終処分場として(株)群桐産業からの燃え殻も処理します。

環境組織図



群桐グループの環境組織図は図のようになっています。

グループ会長を環境総括責任者とし、群桐エコロ(株)の社長を管理責任者としています。また、各課の責任者は内部監査官としてEMS(環境マネジメントシステム)事務局と共にチームを編成し、年1回の内部監査を実施しています。EMS事務局は、環境部が主幹しており、環境管理責任者と共に環境活動における重要な役割を果たしています。

環境管理責任者は、主に法律関係や環境目的・目標・プログラム等に関わる業務の管理並びにその他業務の管理及び承認を行います。

環境総括責任者は、各種重要項目の承認並びに環境管理計画の見直しによる是正・改善を、環境活動が継続的かつ効果的に運用されるよう環境管理責任者に指示します。

大気環境測定結果

群桐グループでは、周辺環境への影響を常に把握するため、ダイオキシン類やばい煙等の測定を行い、その結果をホームページで公開しています。

◆大気環境測定結果(直近値)

1. ダイオキシン類

対象施設:株式会社 群桐産業 焼却施設

資料採取日:2022.11.11 証明書発行日:2022.12.21

項目	測定結果	基準値	自主基準
排ガス	0.46 ng-TEQ/m ³ N	5 ng-TEQ/m ³ N	4.0 ng-TEQ/m ³ N
焼却灰	0.0070 ng-TEQ/g	3 ng-TEQ/g	2.4 ng-TEQ/g
飛灰(ばいじん)	1.8 ng-TEQ/g	3 ng-TEQ/g	2.4 ng-TEQ/g

対象施設:群桐エコロ 株式会社 焼却溶融施設

資料採取日:2022. 7.14 証明書発行日:2022. 9. 7

項目	測定結果	基準値	自主基準
排ガス	0.0038 ng-TEQ/m ³ N	0.1 ng-TEQ/m ³ N	0.1 ng-TEQ/m ³ N
焼却灰(溶融固化物)	0 ng-TEQ/g	3 ng-TEQ/g	2.4 ng-TEQ/g
飛灰(ばいじん)	0.41 ng-TEQ/g	3 ng-TEQ/g	2.4 ng-TEQ/g

2. ばい煙(ばいじん、硫黄酸化物、窒素酸化物、塩化水素)

対象施設:株式会社 群桐産業 焼却施設

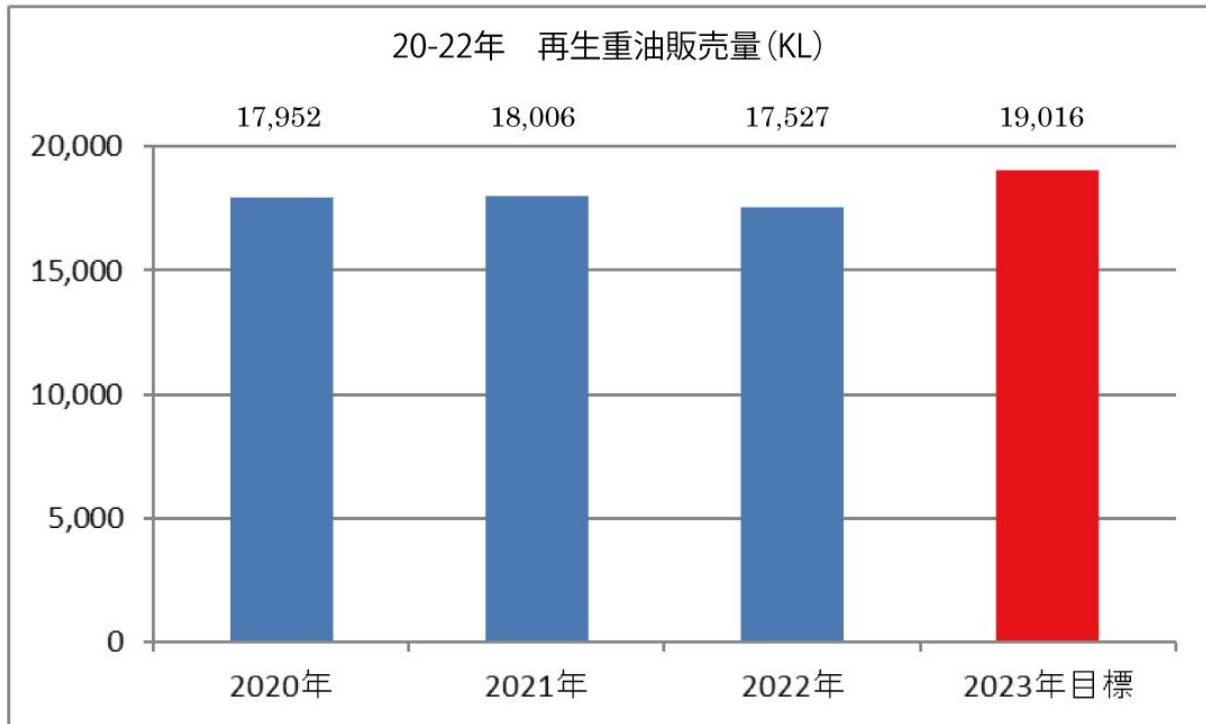
項目	測定結果		基準値	自主基準
	資料採取日:2022.11.11 計量証明発行日:2022.12. 9	資料採取日:2023. 3.30 計量証明発行日:2023. 4.17		
ばいじん濃度	0.002 g/m ³	0.002 g/m ³	0.15 g/m ³	0.12 g/m ³
硫黄酸化物量(K値)	0.080 m ³ /h未満	0.080 m ³ /h未満	8.0 m ³ /h	6.4 m ³ /h
窒素酸化物換算濃度	57 ppm	58 ppm	250 ppm	200 ppm
塩化水素換算濃度	38 mg/m ³	23 mg/m ³	700 mg/m ³	560 mg/m ³

対象施設:群桐エコロ 株式会社 焼却溶融施設

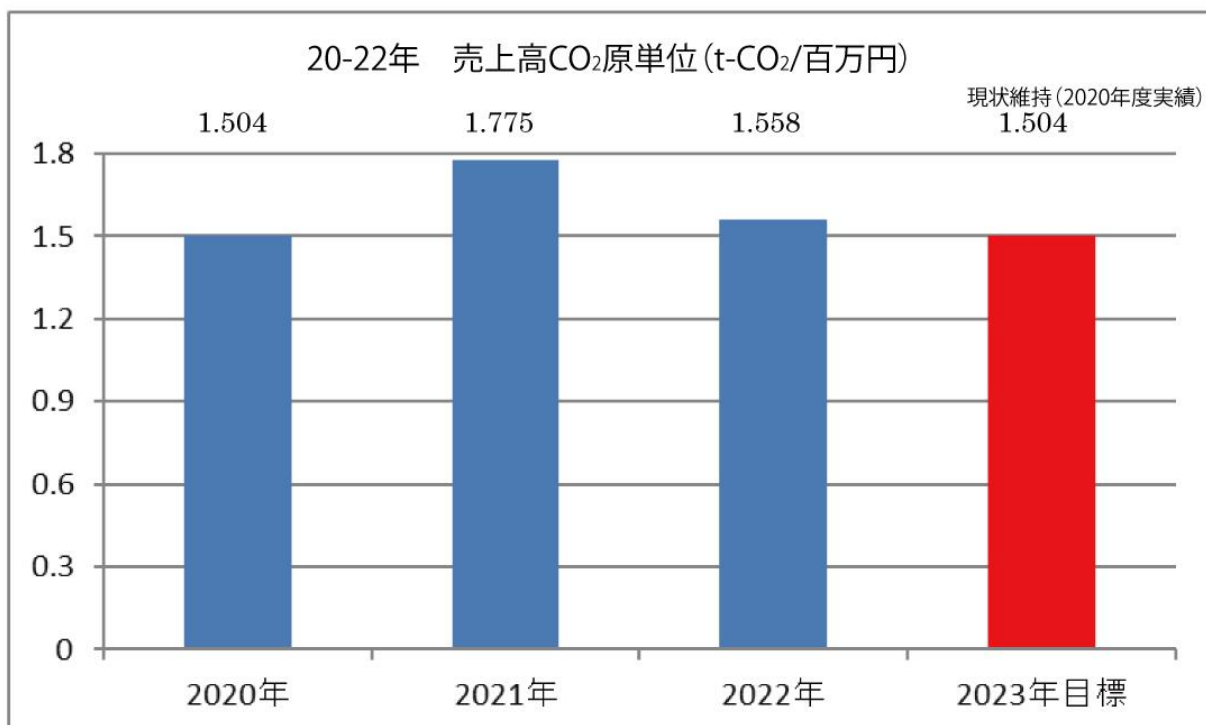
項目	測定結果		基準値	自主基準
	資料採取日:2023. 3.14 計量証明発行日:2023. 3.24	資料採取日:2023. 5.10 計量証明発行日:2023. 5.26		
ばいじん濃度	0.001 g/m ³ 未満	0.001 g/m ³	0.04 g/m ³	0.02 g/m ³
硫黄酸化物量(K値)	0.21 m ³ /h未満	0.23 m ³ /h未満	17.5 m ³ /h	6.0 m ³ /h
窒素酸化物換算濃度	78 ppm	62 ppm	250 ppm	150 ppm
塩化水素換算濃度	7.7 mg/m ³ 未満	5.9 mg/m ³	700 mg/m ³	150 mg/m ³

環境目標とその実績

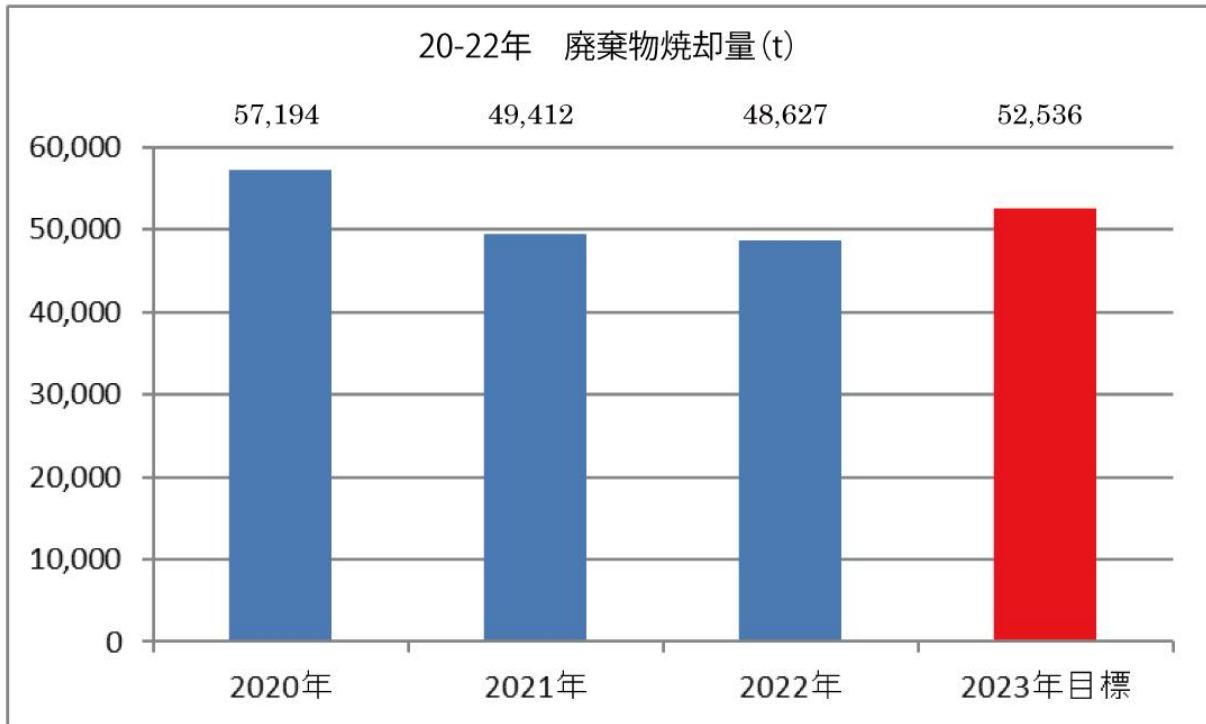
①再生重油販売量



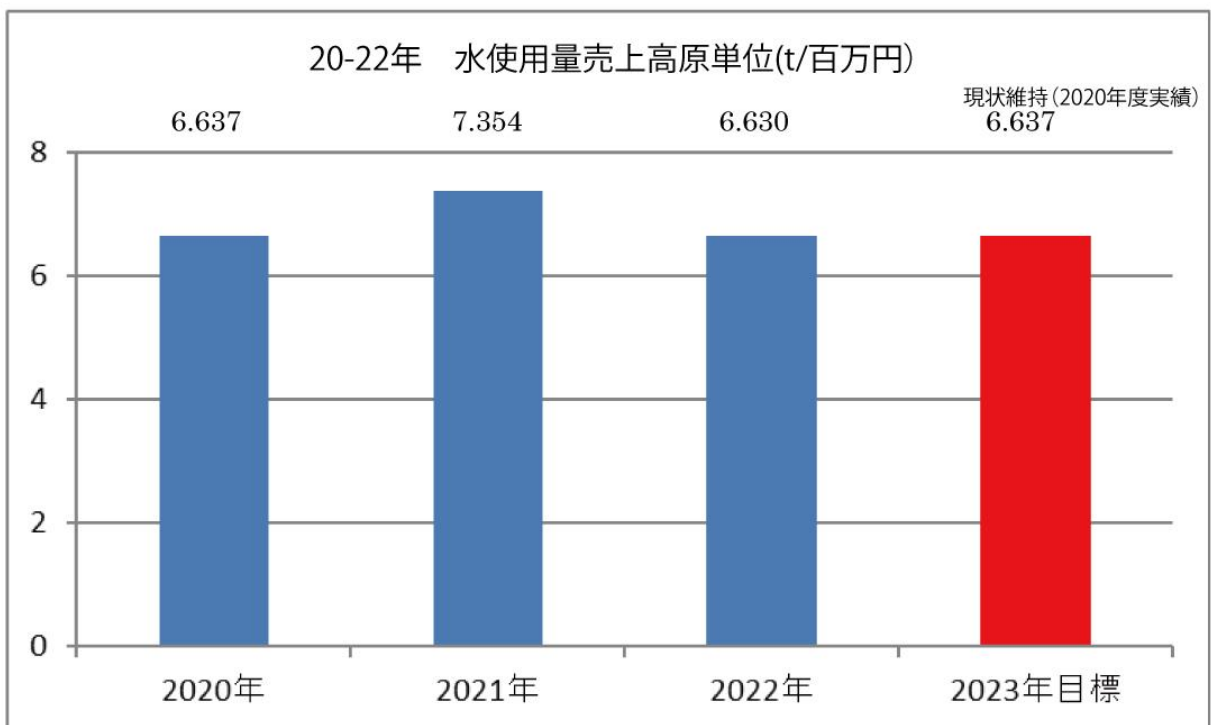
②CO₂排出量削減



③ 廃棄物焼却量



④ 水の使用量削減



環境への主な取り組み

環境保全活動

ISO維持審査

令和4年8月18・19日の2日間、群桐グループではISO 14001認証審査機関(SGSジャパン株式会社)による維持審査が実施されました。

期間中は審査員による書類審査や社員インタビュー、作業立会審査等が行われ無事に認定登録されました。



周辺美化活動

地域に密着した企業である群桐グループは、周囲への奉仕を兼ねて美化活動と称した社屋周辺のごみ拾いや除草作業を行っています。

早朝から開始されるこの活動は、スタッフ一人ひとりの環境意識の向上に役立っています。



太陽光発電

太田市では太陽光発電の推進を掲げており、群桐グループもそれに倣って様々な場所で太陽光発電を行っています。

(株)群桐産業では焼却プラントの倉庫棟及び廃棄物専用保管庫の屋根に、群桐エコロ(株)では事務所と倉庫の屋根にそれぞれソーラーパネルが設置されています。

太田市では年間を通して日照時間が多く、太陽の恵みを豊富に享受できます。



環境に配慮した設備・システム

排ガス無害化処理システム

(株)群桐産業と群桐エコロ(株)の各プラントでは、排ガスを適切に管理しています。

二次燃焼室で未燃分を分解後、急速冷却。その後消石灰による吸着・バグフィルタでのろ過を経た後、大気に放出されます。

尚、排ガスは通常の基準値よりもさらに厳しい自社基準を設け、数値を下回るよう常に気を配っています。



水使用量の削減

群桐グループの焼却施設では、焼却炉や排ガスの冷却に雨水を利用しています。

特に群馬ハイブリッドクリーンセンターでは、機器の冷却やボイラにおいて水の循環利用をはじめとする効率的な利用に取り組み、水使用量の削減に努めています。



施設の超省エネ運転

群馬ハイブリッドクリーンセンターの焼却溶融施設では、廃棄物を処理する際の熱エネルギーを回収・廃熱ボイラで蒸気を発生させ、発電に利用しています(サーマルリサイクル)。この発電量は、1時間あたり平均約830kw(年間5,976,000kw。一般家庭約1,300世帯分の使用量)となり、CO2排出量が余熱利用と併せて年間約2,000 t削減されました。

また焼却炉を動かす燃料となる重油も工場内で製造された再生重油を使用しており、超省エネ運転を実現しています。



安全対策

事故を起こさないための指導・設備

OJTによる安全指導

可燃物をはじめとする危険物を多く取り扱う弊社プラントでは、新人や経験が浅いスタッフへの現場でのOJTによる安全指導が徹底されています。

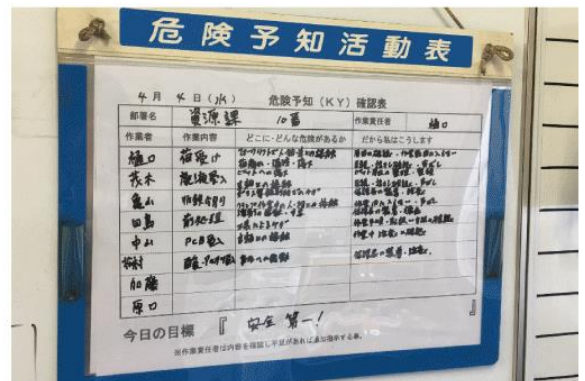
特に大型の特高トランスなどの搬入や処理に携わる群桐エコロ(株)の固定床炉を担当するスタッフは、特に慎重な作業を要求される為常日頃から安全指導は不可欠となります。



5SおよびKY活動の徹底

群桐グループのプラントスタッフは常に5S活動(整理・整頓・清潔・清掃・躰)を意識して業務に臨んでいます。

また、危険予知活動(KY活動)も積極的に取り入れており、日々の業務に起こり得る危険を予め予測し共有することで安全に配慮しています。これらは製造業やサービス業における基本的な活動ですが、徹底することにより業務の効率化や職場の安全性向上などに効果を発揮します。



交通安全運動

プラント構内での車両通行ルールの再認識をしていただく狙いから、群桐エコロ(株)では交通安全運動(立哨活動)を行っています。

立哨は毎朝7:30分頃から社員が出社し始める8:00頃まで行われ、お客様や業者様などプラント構内に乗り入れる車両を対象として主にシートベルト着用、制限速度、一時停止及び進入禁止場所の遵守等を目視確認いたします。



事故の発生・拡大防止の教育・訓練

避難誘導および消火訓練

群桐グループ各社では年に1回、有事に備え避難誘導および消火訓練を実施しています。

消火器や消火栓の設置個所の確認や避難経路の確認を行い、災害時における適切な判断と行動を身に着けます。

直近となる今回は4月20日に群桐ビルで行われ、消火器の使用方法について(株)増田コーポレーション様から説明を受けた後、新人を中心に実際に消火器の操作を行いました。



油流出防止訓練

群桐エコロ(株)では、毎年油の流出事故に備えての対応訓練を実施しています。タンク配管からの流出や、ドラム缶の横転などを想定して、適切な処置ができるよう訓練を行います。

訓練の後は作業員同士でミーティングを行い、緊急時対応手順表や連絡表等を見直して作成しています。



労働安全マネジメントシステム

(株)群桐産業及び群桐エコロ(株)では両社それぞれに安全衛生委員会を設置し、安全対策及び安全衛生計画を立案し推進しています。安全衛生委員会では「労働無災害継続」を宣言し、経営層と従業員が一体となり重大な労働災害の防止や自然災害発生時の影響を最小限にする体制づくりなどに取り組んでいます。

更に、リスクアセスメントによる設備の安全対策や災害防止対策を審議するとともに現場のパトロールを行い、ルール遵守の徹底や安全教育の実施により、安全に対する意識向上に努めています。





 *Guntoh group*
株式会社 群桐産業

〒379-2304 群馬県太田市大原町78番1
TEL:0277-78-2479 FAX:0277-78-5084
URL <http://www.grr.co.jp>

 *Guntoh group*
群桐エコロ 株式会社

〒370-0351 群馬県太田市新田大町600番26
TEL:0276-55-0500 FAX:0276-55-0501
URL <http://www.grr.co.jp/ecologista/>